

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

\*A4 用紙 3 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作品の名称	お手軽ドライヤースタンド
対象者の領域	身体障害 (○)、精神障害 ( )、発達障害 ( )、高齢者 ( )、その他 ( )
自助具の分類	食事動作 ( )、整容動作 (○)、更衣動作 ( )、排泄動作 ( )、入浴動作 ( )、コミュニケーション ( )、趣味・余暇活動 ( ) その他 ( )
用具の種類	工夫・改良品 (○)、個別製作品 ( )
応募作品の概要	<p><b>【目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳血管、運動器疾患等で、患側上肢が挙上できない、または挙上位で保持することが大変な方でも片手で髪を乾かすことができるようにする。</li> </ul> <p><b>【特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料費が安く、作り方、使い方も簡単のため、患者様、ご家族、セラピストにとって非常に導入しやすい。</li> <li>・壁に取り付けたり、クリップで挟むための天板を必要としないため場所を選ばず使える。</li> <li>・ドライヤーの持ち手を差し込むだけなので、本作品を使用しない方ともドライヤーを共有できる。</li> <li>・類似品として販売されているものはあるが、4,000 円程と比較的高価のため病院として数を揃えたり、患者様にお勧めすることに難がある。</li> </ul> <p><b>【作成の経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当していた患者様より、ドライヤーで髪を乾かしたいが、麻痺側上肢を挙上位で保持することが難しいとの相談があり、機能訓練と並行して現在の生活をラクに行うことができないかと本作品を考案した。</li> </ul>
工夫したポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状どこの病院も人手不足のため、1 人が担当する患者様の人数も多く、空き時間が少ない。限られた時間の中で作らないといけないため、できるだけ工程は少なく、簡単になるようにした。</li> <li>・セラピストだけでなく、患者様やご家族が作ることも想定しており、再現性が高くなるように作り方を簡単にした。</li> <li>・本人用として制作する場合には、ご家族に材料を買ってきてもらうことが多いため、材料費を抑えて金銭的負担を軽減することができるようにした。</li> <li>・本作品にドライヤーの持ち手を差し込むだけで使えるため、導入のための練習時間もそれほど要さず、限られたリハビリ時間を有効に活用することができる。</li> </ul>
利用上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用年数に伴い、接合部分の固定が緩んでくる可能性はあるが、その都度ネジを締め直せば、固定力も元に戻ってくるものと考える。</li> </ul>

作  
製  
の  
準  
備

【使用材料】

- ・スマートフォンスタンド（高さや角度が調整できるものであればなお良い）
  - ・クッションワイヤー（30cm 程のもの）
- ※2025 年月時点で 2 点とも Can★Do にて購入したが、類似商品が他社からも購入可能。

【材料費】

合計 220 円

1. 作品の外観



・斜め上から



・ドライヤーをセット



・高さを変えたところ



・角度を変えたところ

2. 作り方・製作過程

①スマートフォンスタンドを組み立てる。



②クッションワイヤーを 4cm 程折り返す。



③スマートフォンの受け部分にクッションワイヤーを引っ掛けて、高さや角度を調節して完成。



応  
募  
作  
品  
の  
特  
徴

### 3. 活用場面



- ・コンセントを上から通して，ドライヤーをセットするだけで簡単に使用できる。
- ・ドライヤー起動中も，グラグラせず安定している。

応募作品の特徴



- ・ご家族や院内の他の患者様等，本作品を使用しない方ともドライヤーを共有できる。

<写真の使用に関して> ※該当する項目( )に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ( )、対象者に同意を得ていない ( )、該当せず ( ○ )

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。